

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市北部身体障害者福祉会館及びわーくす高津	評価対象年度	平成27年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人 育桜福祉会 ・代表者名 理事長 生亀 洋子 ・住所 中原区西加瀬10-3	評価者	障害福祉課長 障害計画課長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害福祉課・障害計画課

2. 事業実績

利用実績	<p>【北身館】 〔講習会・ボランティア育成事業〕 ・手話入門(昼):全7回 20名 ・手話入門(夜):全7回 27名 ・入門点字:全5回 25名 ・拡大写本入門:全6回 6名 ・朗読入門:全5回 20名 ・視覚障害者への理解:全2回 8名 ・聴導犬デモンストレーション(新規) 全1回 61名 〔作業室〕 ・在籍数:生活介護 23名(定員20名)</p> <p>【わーくす高津】 ・在籍数:就労継続B 31名(定員30名)</p>																																																
収支実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">身障会館全体 (円)</th> <th colspan="2">わーくす高津 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>67,727,386</td> <td>収入</td> <td>60,510,379</td> </tr> <tr> <td> 委託料</td> <td>21,429,523</td> <td> 就労支援事業</td> <td>3,517,173</td> </tr> <tr> <td> 利用料他</td> <td>45,327,844</td> <td> 自立支援費等</td> <td>56,033,443</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>970,019</td> <td> その他</td> <td>959,763</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>57,805,960</td> <td>支出</td> <td>46,251,340</td> </tr> <tr> <td> 人件費</td> <td>46,702,485</td> <td> 就労支援事業</td> <td>3,517,173</td> </tr> <tr> <td> 事務費</td> <td>5,496,740</td> <td> 人件費</td> <td>32,318,216</td> </tr> <tr> <td> 事業費</td> <td>4,017,785</td> <td> 事務費</td> <td>5,320,080</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>1,588,950</td> <td> 事業費</td> <td>4,646,267</td> </tr> <tr> <td>差額</td> <td>9,921,426</td> <td> その他</td> <td>449,604</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>差額</td> <td>14,259,039</td> </tr> </tbody> </table>	身障会館全体 (円)		わーくす高津 (円)		収入	67,727,386	収入	60,510,379	委託料	21,429,523	就労支援事業	3,517,173	利用料他	45,327,844	自立支援費等	56,033,443	その他	970,019	その他	959,763	支出	57,805,960	支出	46,251,340	人件費	46,702,485	就労支援事業	3,517,173	事務費	5,496,740	人件費	32,318,216	事業費	4,017,785	事務費	5,320,080	その他	1,588,950	事業費	4,646,267	差額	9,921,426	その他	449,604			差額	14,259,039
身障会館全体 (円)		わーくす高津 (円)																																															
収入	67,727,386	収入	60,510,379																																														
委託料	21,429,523	就労支援事業	3,517,173																																														
利用料他	45,327,844	自立支援費等	56,033,443																																														
その他	970,019	その他	959,763																																														
支出	57,805,960	支出	46,251,340																																														
人件費	46,702,485	就労支援事業	3,517,173																																														
事務費	5,496,740	人件費	32,318,216																																														
事業費	4,017,785	事務費	5,320,080																																														
その他	1,588,950	事業費	4,646,267																																														
差額	9,921,426	その他	449,604																																														
		差額	14,259,039																																														
サービス向上の取組	<p>・会館の地域交流事業として北身館フェスティバルを開催し、新たな店舗を含めた近隣商店の参加や近隣中学校に職場体験学習を行うなど、地域住民との交流を通じて、障害者福祉の理解・啓発に寄与している。 ・作業室・わーくすでは、健康管理について、医師の協力を得ながら、バイタルチェックなど日々の健康管理を看護師が行い、急な状態変化等にも対応できるよう、体制を整えている。また、食事についても、看護師を中心に衛生管理、栄養管理を行っている。</p>																																																

3. 評価 (評価段階:5~1,標準:3,加点割合:5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
<p>(評価の理由)</p> <p>・会館では、新規講習会として、聴導犬デモンストレーションを行い、地域の多くの方が参加され、新たな福祉の形を学習することで、地域福祉に貢献することができている。また、視覚障害者の方に音声情報の更新を朗読ボランティアに協力を得ながら、行っている。 ・作業室では、利用者の高齢に伴う身体機能の低下や疾病等を受け、専門機関の評価を行い、ケース会議にて支援の方向性を検討し、身体機能を維持し生活の質の向上に取り組むなど、きめ細やかな支援を行っている。また、新商品(デコレーション製品)を開発し、試作を重ね、本格稼働につなげることができている。他にも、わーくすとは別に作業室独自で外注を受けることができるなど、創作的活動の幅を広げている点は評価できる。 ・わーくすでは、就労体験として、毎日映画コンクールに利用者がサポートスタッフとして参加し、自信を深める良い体験となった。</p>					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
	適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3
		事業収支に関して適正な会計処理が為されているか			
<p>(評価の理由)</p> <p>・概ね良好な収支状況である。会計処理についても適正に行われており、老朽化した備品等の購入、修繕を実施し、安全及び利便性に配慮している。 ・年2回の監事監査会の開催、年3回の公認会計士による自主監査を実施し、第三者によるチェック体制が整えられている。</p>					

サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		利用者への支援を適切かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4
		利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 苦情、要望について、各部屋に意見箱を設置していること、口頭の場合では、記録を取り、対応、報告を行い、また、苦情解決第三者委員を活用するなど、サービスの質の向上に取り組んでいる。その他、利用者満足度調査等の活用により利用者からの意見・要望を広く受け止め、集計結果については、会館入口等に掲示、公表し、業務の改善につなげている。 第三者評価で指摘のあった職員の共有化及び役割分担と職員の協力について、わーくす、作業所の2事業所間の職員の交換実習という形で入れ替えを行い、情報の共有や業務の把握につなげ、進捗状況を全体で把握し、フォロー体制の整備、緊急時対応できる体制を整備した。 					
組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	4	4
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 配食サービスによる食事提供から、「衛生管理マニュアル」に基づき、体制を整備し、適切な衛生管理を行っている。 会館では、聴覚障害者の方との円滑なコミュニケーションを図るため、受付業務で使用する手話を学習し、サービスの質の向上に取り組んでいる。 災害への備えを強化し、消防計画では、年2回の避難訓練を、毎月防災訓練を実施し、非常時の動きを繰り返し確認している。平成27年度は実際の災害を想定し、備品の保管方法や事態を想定した具体的な対応方法等を検討、実施している。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
	<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 会館利用の聴覚障害者の方に簡易筆談器を設置している。また、26年度に購入したOHCを講習会等に活用し、利用団体からも好評を得ていることは評価できる。 施設設備の保守管理については、年間計画に基づき適切に実施し、清掃等も毎日行い、適切に管理されている。 				

4. 総合評価

評価点合計	71	評価ランク	B
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E/標準:C/A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満
A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<ul style="list-style-type: none"> 会館では、既存の講習会だけでなく、新規講習会として、聴導犬デモンストレーションを行い、地域の多くの方が参加され、このような学習を通じて、障害者福祉の理解が進み、地域福祉の貢献に寄与している点については評価できる。 第三者評価で指摘のあった職員の共有化及び役割分担と職員の協力について、わーくす、作業所の2事業所間の職員の交換実習という形で入れ替えを行い、情報の共有や業務の把握につなげ、進捗状況を全体で把握し、フォロー体制の整備、緊急時対応できる体制を整備した点は評価できる。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

--